

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日		校 長 名		所 在 地	
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日		千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番1他 (電話) 042-637-3111	
設 置 者 名		設立認可年月日		代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 片柳学園		昭和25年3月1日		片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111	
目 的	医療人としての資質を育て、社会に貢献できる人材を育成する。伝統的な医療と現代の医療の両方に通じた医療人となり、広く地域社会に貢献できるよう教育する。						
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与	
医療	医療専門課程	鍼灸科	3年(昼)	2,535単位時間 (又は単位)	平成17年文部科学 大臣告示第30号	—	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技	
		1800単位時間 (又は118単位)	—単位時間 (又は単位)	—単位時間 (又は単位)	795単位時間 (又は23単位)	—単位時間 (又は単位)	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		106人		7人	25人	32人	
学期制度	■前学期：4月1日～9月30日 ■後学期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S：90点以上 A：80～90点 B：70～79点 C：60～69点 D：59点以下は不合格 P：単位認定		

長期休み	■学年始め ：4月1日 ■夏 季 ：7月21日～8月31日 ■冬 季 ：12月23日～翌年1月8日 ■春 季 ：3月18日～3月31日 ■学 年 末 ：3月31日	卒業・進級条件	進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること
生徒指導	■クラス担任制 （有・無） ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。	課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展覧会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動 （有・無）
就職等の状況	■主な就職先、業界等 さくら鍼灸整骨院グループ (株)トリート 橋本みなみ鍼灸整骨院 きたの鍼灸整骨院 からだおん鍼灸整骨院 ■就職率 ^{※1} 90.5% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 79.2% ■その他（任意） （平成25年度卒業者に関する平成26年4月時点の情報）	主な資格・検定	はり師、きゅう師 ほか
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0.0% 平成25年4月1日在学者 94名（平成25年4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 90名（平成24年3月卒業生を含む）※休学者4名含まず ■中途退学の主な理由 進路変更・就職、経済的理由、病気療養・怪我治療 ■中退防止のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。		
ホームページ	URL： http://www.neec.ac.jp/		

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

厚生労働省による鍼灸師養成施設基準に準拠しより良い医療人を輩出できるような授業の実施を心がける。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年9月22日現在

名 前	所 属	任 期
千葉 茂	日本工学院八王子専門学校	平成27年3月31日
山野 大星	日本工学院八王子専門学校	平成27年3月31日
淵川 達也	日本工学院八王子専門学校	平成27年3月31日
九原 慎介	一般社団法人 日本姿勢教育協会	平成27年3月31日
関 昌勝	関鍼灸治療院 院長	平成27年3月31日

(開催日時)

第1回 平成26年8月27日 10:00~10:30 11:20~11:50

第2回 平成27年3月27日 10:00~10:30 11:20~11:50

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

鍼灸師養成施設基準に準拠する。

臨床現場で活躍する鍼灸師(教員資格有り)に講義を行ってもらい、より現場に近い授業を提供している。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
はり実技3・4	臨床において鍼施術をどのように行うか、部位別、疾患別に実習します。	こぼり治療院
はり実技5・6	臨床において鍼施術をどのように行うか、部位別、疾患別に実習します。	あいのわ鍼灸治療院

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、最新の技術力と技能、人間力を修得する。

新たな技術の研究や理解等は教員においては必須のスキルとなっている。また、社会に出た後は、技術だけでなく人間としての成長を求める企業は多いため、学生に技術に加え、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけてもらうための教員研修の実施・継続が不可欠と位置づける。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月22日現在

名 前	所 属	任 期
金子 英明	セントラルエンジニアリング株式会社 グループマネージャー	平成27年3月31日
細谷 幸雄	八王子商工会議所 事務局長	平成27年3月31日
森 健介	白梅学園高等学校 副校長	平成27年3月31日
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社 代表取締役	平成27年3月31日
古木 勝紀	株式会社バンパー 取締役	平成27年3月31日
石川 仁嗣	医療法人社団健心会みなみ野ハートクリニック 事務長	平成27年3月31日
杉山 一夫	株式会社リンキィディング 代表取締役	平成27年3月31日
松浦 弦三郎	松浦技術士事務所 代表	平成27年3月31日

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.nhac.ac.jp/news/131129/nhac_report.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.nhac.ac.jp/news/131129/nhac_report.pdf

授業科目等の概要

(医療専門課程) 鍼灸科 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			薬理学1	基本的な薬と人体の関係を学びます。	1前	30	2	○		
○			薬理学2	基本的な薬と人体の関係を学びます。	1後	30	2	○		
○			コンピュータ1	情報処理リテラシー教育としてのワープロ、表計算について学びます。	1前	30	1			○
○			コンピュータ2	情報処理リテラシー教育としてのワープロ、表計算について学びます。	1後	30	1			○
○			英語	日常会話から臨床英語まで、鍼灸師として必要な英語について学びます。	1前	30	2	○		
○			解剖学1	臨床活動をおこなう上で必要な知識である、人体の構造（神経系、内臓系、筋系、骨格系など）について学びます。	1前	30	2	○		
○			解剖学2	臨床活動をおこなう上で必要な知識である、人体の構造（神経系、内臓系、筋系、骨格系など）について学びます。	1後	30	2	○		
○			生理学1	臨床活動をおこなう上で必要な知識である、人体の機能（循環、呼吸、消化、排泄など）について学びます。	1前	30	2	○		
○			生理学2	臨床活動をおこなう上で必要な知識である、人体の機能（循環、呼吸、消化、排泄など）について学びます。	1後	30	2	○		
○			からだのしくみ1	人のからだの構造や形態、その仕組みや機能などを基本から学びます。	1前	60	4	○		
○			からだのしくみ2	人のからだの構造や形態、その仕組みや機能などを基本から学びます。	1後	60	4	○		
○			臨床医学各論1	臨床活動をおこなう上で必要な西洋医学的知識について学びます。	1前	30	2	○		

○		臨床医学各論 2	臨床活動をおこなう上で必要な西洋医学的知識について学びます。	1 後	30	2	○		
○		医療概論 1	医療従事者としての倫理観、医療の歴史から現代の医療制度までを学びます。	1 前	15	1	○		
○		医療概論 2	医療従事者としての倫理観、医療の歴史から現代の医療制度までを学びます。	1 後	15	1	○		
○		経絡経穴 1	鍼灸施術の基礎となる経穴（ツボ）について、名称や、主治作用について学びます。	1 前	30	2	○		
○		経絡経穴 2	鍼灸施術の基礎となる経穴（ツボ）について、名称や、主治作用について学びます。	1 後	30	2	○		
○		鍼灸理論 1	鍼灸施術における用具の知識、施術上の注意など基礎的知識について学びます。	1 前	15	1	○		
○		東洋医学概論 1	東洋思想の陰陽五行論を基礎理論として、東洋医学的な身体メカニズムや病気についての考え方、診断施術法について学びます。	1 前	30	2	○		
○		東洋医学概論 2	東洋思想の陰陽五行論を基礎理論として、東洋医学的な身体メカニズムや病気についての考え方、診断施術法について学びます。	1 後	30	2	○		
○		手技理論 1	手技施術の治効理論について学びます。	1 前	15	1	○		
○		手技理論 2	手技施術の治効理論について学びます。	1 後	15	1	○		
○		灸実技 1	灸（きゅう）施術の基本技術について実習します。	1 前	30	1			○
○		灸実技 2	灸（きゅう）施術の基本技術について実習します。	1 後	30	1			○
○		手技実技 1	手技施術の基本技術について実習します。	1 前	30	1			○
○		手技実技 2	手技施術の基本技術について実習します。	1 後	30	1			○
○		はり実技 1	鍼（はり）施術の基本技術について実習します。	1 前	45	1			○
○		はり実技 2	鍼（はり）施術の基本技術について実習します。	1 後	45	1			○
○		臨床心理学	患者の心理的背景を理解するための心理学の基礎を学びます。	2 後	30	2	○		

○			スポーツ 1	定期的なスポーツ活動が健全な肉体と精神の維持に必要なことを、実技を通じて学びます。	2 前	30	1	○		
○			スポーツ 2	スポーツ障害の防止などについて実技を通して学びます。	2 後	30	1	○		
○			解剖学 3	臨床活動をおこなう上で必要な知識である、人体の構造について詳細に学びます。	2 前	30	2	○		
○			解剖学 4	臨床活動をおこなう上で必要な知識である、人体の構造について詳細に学びます。	2 後	30	2	○		
○			生理学 3	臨床活動をおこなう上で必要な知識である、人体の機能（神経、反射、感覚、免疫、代謝など）について学びます。	2 前	30	2	○		
○			生理学 4	臨床活動をおこなう上で必要な知識である、人体の機能（神経、反射、感覚、免疫、代謝など）について学びます。	2 後	30	2	○		
○			病理学概論 1	疾病の成り立ちを理解するために、病因、病変、炎症、腫瘍など病理学の基礎について学びます。	2 前	30	2	○		
○			病理学概論 2	疾病の成り立ちを理解するために、病因、病変、炎症、腫瘍など病理学の基礎について学びます。	2 後	30	2	○		
○			診察学 1	患者の症状から、疾患名や予後を推測する方法を学びます。	2 前	30	2	○		
○			診察学 2	患者の症状から、疾患名や予後を推測する方法を学びます。	2 後	30	2	○		
○			公衆衛生学 1	健康とはなにか予防医学とはなにかを、生活環境から考えます。	2 前	30	2	○		
○			公衆衛生学 2	予防医学を環境との関わりから学びます。	2 後	30	2	○		
○			鍼灸理論 2	鍼灸施術における治効理論や関連学説について学びます。	2 前	15	1	○		
○			鍼灸理論 3	鍼灸施術における治効理論や関連学説について学びます。	2 後	15	1	○		
○			東洋医学概論 3	東洋思想の陰陽五行論を基礎理論として、東洋医学的な身体のメカニズムや病気についての考え方、診断施術法について学びます。	2 前	30	2	○		
○			東洋医学概論 4	東洋思想の陰陽五行論を基礎理論として、東洋医学的な身体のメカニズムや病気についての考え方、診断施術法について学びます。	2 後	30	2	○		
○			診察学応用 1	東洋医学的診断法と西洋医学的診断法を学び、適切な施術を施すための判断力を養います。	2 前	30	2	○		

○			診察学応用2	東洋医学的診断法と西洋医学的診断法を学び、適切な施術を施すための判断力を養います。	2後	30	2	○		
○			中医学概論1	中医学の理論的背景について基礎から学びます。	2前	30	2	○		
○			中医学概論2	中医学の理論的背景について基礎から学びます。	2後	30	2	○		
○			灸実技3	臨床において灸施術をどのように行うか、部位別、疾患別に実習します。	2前	30	1			○
○			灸実技4	臨床において灸施術をどのように行うか、部位別、疾患別に実習します。	2後	30	1			○
○			手技実技3	臨床において手技施術をどのように行うか、部位別、疾患別に実習します。	2前	30	1			○
○			手技実技4	臨床において手技施術をどのように行うか、部位別、疾患別に実習します。	2後	30	1			○
○			はり実技3	臨床において鍼施術をどのように行うか、部位別、疾患別に実習します。	2前	45	1			○
○			はり実技4	臨床において鍼施術をどのように行うか、部位別、疾患別に実習します。	2後	45	1			○
○			取穴実技1	さまざまな疾患の施術を行うため、体表解剖学の観点から、正確な取穴技術を取得する方法を学びます。	2前	30	1			○
○			取穴実技2	さまざまな疾患の施術を行うため、体表解剖学の観点から、正確な取穴技術を取得する方法を学びます。	2後	30	1			○
○			経営管理	経営管理に必要な税務の基礎を学びます。	3前	30	2	○		
○			解剖学5	臨床活動をおこなう上で必要な知識である、人体の構造を機能面も含め総合的に学びます。	3前	30	2	○		
○			生理学5	臨床活動をおこなう上で必要な知識である、人体のしくみを総合的に学びます。	3前	30	2	○		
○			バイオメカニクス	基礎力学からはじまり、歩行、人体のしくみ(運動器系)について学びます。	3前	30	2	○		
○			臨床医学各論3	臨床活動をおこなう上で必要な知識である、西洋医学的知識について学びます。	3前	30	2	○		
○			臨床医学各論4	臨床活動をおこなう上で必要な知識である、西洋医学的知識について学びます。	3後	30	2	○		

○		リハビリテーション医学1	鍼灸師として必要なリハビリテーションの知識、方法について学びます。	3前	30	2	○		
○		リハビリテーション医学2	鍼灸師として必要なリハビリテーションの知識、方法について学びます。	3後	30	2	○		
○		公衆衛生学3	感染や生活習慣病予防、消毒など、予防医学に関して知識を学びます。	3前	30	2	○		
○		公衆衛生学4	予防医学という観点から、その方法論を学びます。	3後	30	2	○		
○		関係法規	鍼灸師に関する法律から、医療法、医師法など関係法規について学びます。	3前	15	1	○		
○		鍼灸理論4	鍼灸施術における治効理論や関連学説について学びます。	3前	30	2	○		
○		東洋医学概論5	東洋思想の陰陽五行論を基礎理論として、東洋医学的な身体のメカニズムや病気についての考え方、診断施術法について学びます。	3前	30	2	○		
○		診察学応用3	ベットサイドでの検査をどのように行うか、部位別、疾患別に実習します。	3前	30	2	○		
○		診察学応用4	ベットサイドでの検査をどのように行うか、部位別、疾患別に実習します。	3後	30	2	○		
○		臨床医学特講1	日常よく遭遇する疾患の施術、診断などの臨床で不可欠な知識を学びます。	3前	45	3	○		
○		臨床医学特講2	日常よく遭遇する疾患の施術、診断などの臨床で不可欠な知識を学びます。	3後	45	3	○		
○		漢方薬概論	一般的によく使われる生薬、方剤について学びます。	3後	30	2	○		
○		臨床関係総論1	検査法、施術学、臨床心理学などの知識を基に医療従事者に必要不可欠な総合力を身につけます。	3前	30	2	○		
○		臨床関係総論2	検査法、施術学、臨床心理学などの知識を基に医療従事者に必要不可欠な総合力を身につけます。	3後	30	2	○		
○		灸実技5	臨床において灸施術をどのように行うか、部位別、疾患別に実習します。	3前	30	1			○
○		灸実技6	臨床において灸施術をどのように行うか、部位別、疾患別に実習します。	3後	30	1			○
○		はり実技5	臨床において鍼施術をどのように行うか、部位別、疾患別に実習します。	3前	45	1			○

○			はり実技6	臨床において鍼施術をどのように行うか、部位別、疾患別に実習します。	3後	45	1			○
○			臨床演習・実習	指導教員のもとで、診察、施術までの一連の流れを実習します。	3後	45	1			○
		○	海外研修	外国における政治・文化・経済など、社会の変動と諸問題を研究し、現代人として必要な能力を養います。	2前	60	2		△	○
合計				83科目	2595時間(141単位)					